

専門分野Ⅱ 成人看護学 授業計画

授業科目及び時間数	成人看護Ⅲ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	萱場健雄	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>成人看護学では、成人期の特徴を踏まえ成人期の健康障害を持つ対象のおかれた状況（経過）に応じた看護が展開できる能力を養うことを目標としている。</p> <p>成人看護Ⅲでは、急性期看護について学ぶ。急性期看護とは、急激な健康状態の変化が起こっている患者の看護であり、緻密な観察と適切な対処、正確な医療処置の実施、心理的な安定を促す看護が要求される。本授業では、急性期にある対象の特徴を理解し、この時期に必要な看護について学ぶ。また、実践に向けて「呼吸機能障害」「循環機能障害」のある対象への看護についても学んでいく。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 急性期看護の考え方 1) 急性期とは 2) 急性期看護の対象 3) 急性期にある患者・家族の特徴 4) 急性期看護の特徴	講義	
2回目	1. 急性期にある人の特徴と理解 1) 急な発症における身体的反応（生体侵襲理論） 2) 急な発症における心理的反応（危機理論・ストレス・コーピング） 2. 急性期にある人々への看護援助 1) 看護援助に必要な概念 2) 急性期の看護活動	講義	
3回目	循環機能障害のある対象への看護① （心筋梗塞・不整脈・心不全）構造と機能・疾患	グループワーク	
4回目	循環機能障害のある対象への看護②	グループワーク	
5回目	循環機能障害のある対象への看護③	グループワーク	
6回目	循環機能障害のある対象への看護④	グループワーク	
7回目	循環機能障害のある対象への看護⑤ （大動脈解離・弁膜症・閉塞性動脈硬化症）	講義	
8回目	循環機能障害のある対象への看護⑥ まとめ	講義・グループワーク	
9回目	呼吸機能障害のある対象への看護① （肺がん・喘息・COPD・肺炎）構造と機能・疾患	グループワーク	
10回目	呼吸機能障害のある対象への看護②	グループワーク	
11回目	呼吸機能障害のある対象への看護③	グループワーク	
12回目	呼吸機能障害のある対象への看護④	グループワーク	
13回目	呼吸機能障害のある対象への看護⑤ まとめ	講義・グループワーク	
14回目	呼吸リハビリテーション・胸腔ドレナージ	講義・演習	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	成人看護Ⅲは、3年次の成人看護学実習Ⅱにつながる授業である。学んだことを実習で活用できるように、積極的に授業に取り組んで欲しい。		
テキスト	成人看護学 急性期看護論 スーヴェルヒロカワ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 医学書院 病気がみえる 呼吸器 メディックメディア 病気がみえる 循環器 メディックメディア		
参考書			